



横浜市立釜利谷東小学校

7月号

# 学校便り

TEL 045-783-9398

FAX 045-701-9817

令和元年6月28日

ひがしの願い

ひとつの命

がんばる心

しんじあう仲間

## 大人が手本

校長 皆川 誠

夏至を過ぎ、梅雨の晴れ間の日差しが一段と強くなったように感じます。学校では、6月19日にプール開きを行い、水泳学習が始まっています。

さて、6月24日(月)午前9時過ぎに、やや強い地震がありました。その時、私は校長室にいたのですが、揺れを感じると同時に椅子の動く音がして、子どもたちは、すぐに机の下にもぐったことがわかりました。特に被害もなく、通常通りに授業を進めることができました。地震の情報を確認していると、1年前に起きた大阪北部地震、最近起きた山形・新潟の地震が思い出され、この関東地方にも、いつ大きな地震が起きてもおかしくないという思いを改めてもち、災害への備えの大切さを感じました。

地震などの自然災害に加え、近頃、痛ましい交通事故の話もよく耳にします。特に、5月の中旬に起きた滋賀県大津市での園児が巻き込まれた事故は、私たち教職員にとっては、身につまされるものがありました。これを受けて本校では、歩道を歩く時も車道から遠い方を歩かせること、道路を横断する際に信号待ちをする時には、車道から離れた位置で待たせ、教師はその前に立つことなど、当該保育園が実施していた安全面の配慮について改めて全職員で確認しました。

6月20日には、金沢警察署や神奈川県くらし安全指導員の方をお招きし、保護者ボランティアの皆様のご協力を得て、交通安全教室を行いました。1年生は安全な歩行について、4年生は安全な自転車の乗り方について、ご指導を受けました。どちらも、交差点や道路を横断する際には、必ず左右を確認するといった安全確認の面や、「歩道を広がらずに歩く」とか、「自転車で歩道を走る場合には歩行者優先で、むやみにベルは鳴らさない」などのマナーの面の指導がありました。また、ダミー人形を使つての巻き込み実験や衝突実験などが行われ、1年生も4年生も、その怖さを実感していました。

交通安全教室で学んだことは、日常生活の中で実践していくことが大切で、それが自分の身を守ることに繋がります。そして、マナーの面に関しては、みんなにとって住みよい街につながります。特に自転車は、交通事故の被害者になることもありますが、加害者になる場合もあるので、十分意識する必要があります。ところが、大人が誤った姿を見せしている場面を時々目にします。これでは、せつかくの学びが子ども中に浸透していきません。私たち教職員をはじめとした大人が、子どもたちに良い手本を示すことが、学校での学びを社会の中で生かすことにつながると考えています。保護者や地域の皆様のご協力をお願いいたします。